

令和6年度UDCしんち／新地町地域おこし協力隊活動報告会

地域活動デザインスタジオ

2022～2025年度@新地町

担当教員：鈴木亮平（新領域創成科学研究科・非常勤講師、NPO法人urban design partners balloon、UDCしんちディレクター）

寺田 徹（新領域創成科学研究科・自然環境学専攻・准教授、UDCしんち副センター長）



東京大学 大学院新領域創成科学研究科 環境学研究系
環境デザイン統合教育プログラム
Integrated Environmental Design Program



スタジオの進め方

- 1 学生が新地町に入り込み、地元の方への聞き取りやフィールドワークを行う
- 2 グループワークを行い、地域が抱える課題を整理する
- 3 地域課題解決のための具体的なアクション（＝地域活動）を提案する
- 4 提案を地域住民に提示し、ワークショップ等と通じてフィードバックを経たのち、学生と地域住民が協働してアクションを実践する

4月

～

7月

スタジオ1

8～10

月

スタジオ2

1 フィールドワーク・聞き取り



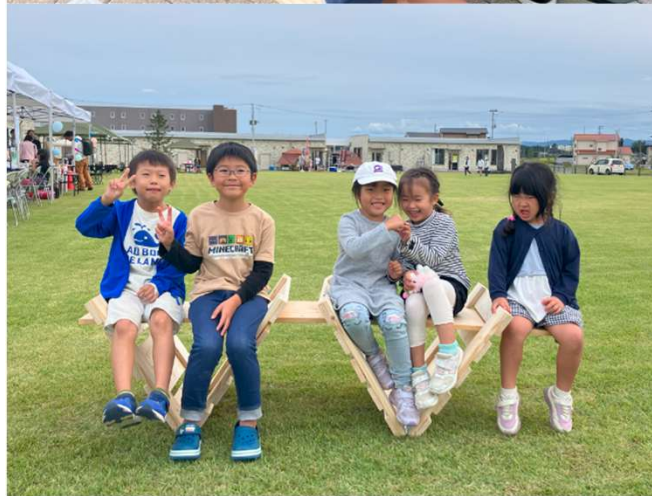
2 グループワーク



3

4

活動提案・ワークショップ・アクションの実践

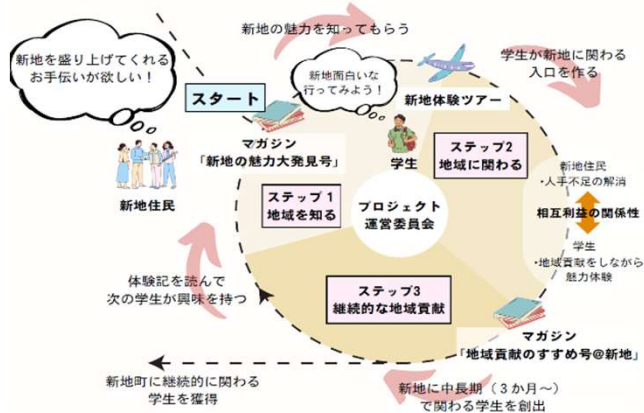


学生ツアー

伊藤映美（情報学）
林明侑奈（建築学）
宮村悠太（造園学）

学生に新地を訪れて地元の生業に触れ、その体験を「マガジン」として発行。それを見た新たな学生が新地を訪れるという循環により、新地町の関係人口を増加させるプログラムを提案。

方法 地域貢献のサイクルを作る



しんちゃっと

津田真里愛（建築学）
時田岳遠（都市計画学）
朴天丞（社会学）

UDCしんちをより広く町民に知ってもらうため、UDCが出張して地域を巡る移動型UDC「しんちゃっと」を提案。



しんみー

寺浦沙也佳（社会学）
都築葵（健康医学）
中村悠哉（都市計画学）

町内で行われる行事・イベントの情報が受け取れ、自分自身の活動の情報発信もできる新地町のためのアプリを提案。



新地の未来を拓く

学生プロジェクト



伊藤映美・林明侑奈・宮村悠太

新地町の課題

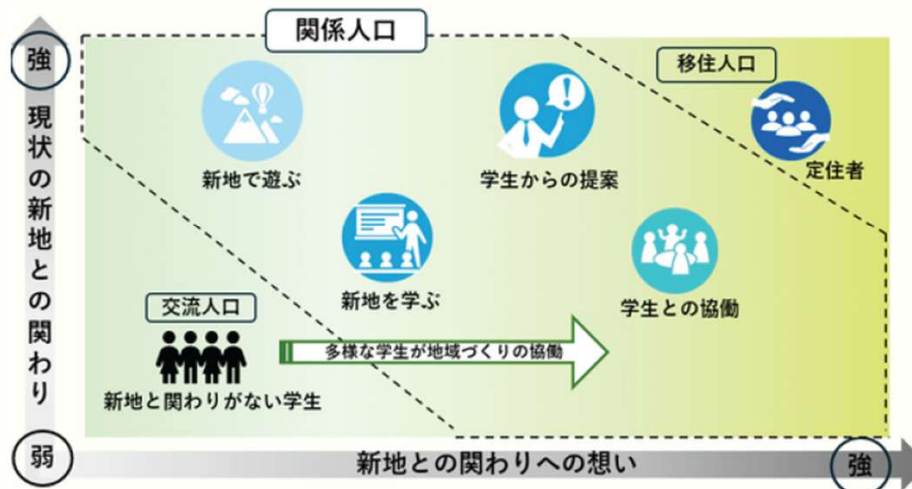
- 1 少子高齢化
- 2 新地に足を止める人が少ない
- 3 街の活動エネルギーの不足

これを解決するために...

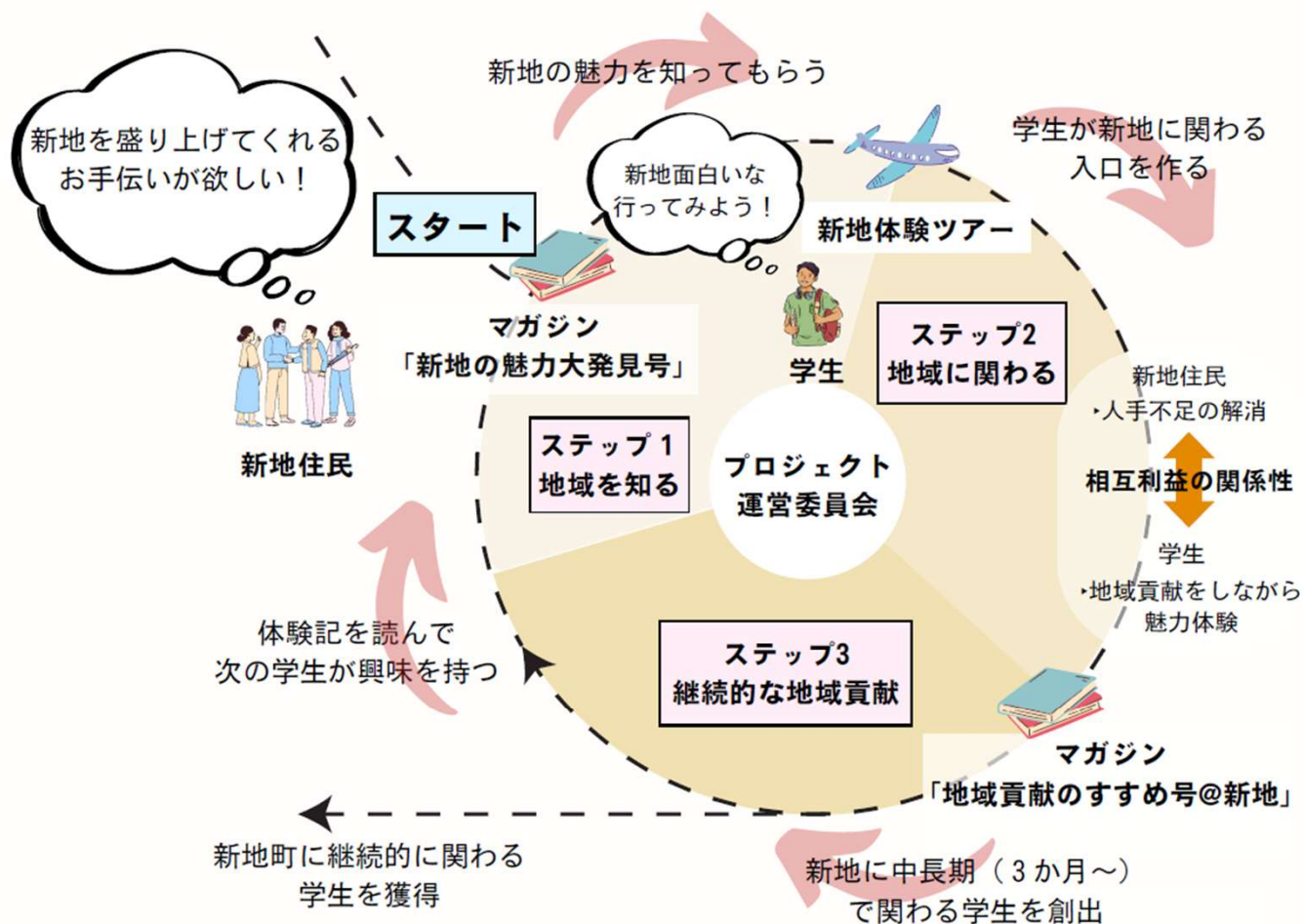
**関係人口として地域に継続的に
関わる学生を増やす!!!**

関係人口とは？

→ 地域に愛着を持ち地域貢献に継続的に関わる人々



方法 地域貢献のサイクルを作る



Step1 新地を知る

【新地の魅力大発見号】

- ・新地の魅力紹介
- ・漁業の魅力
新地の魚はどう流通してる？
- ・農業の魅力
農家の生活はどんな生活？

Step2 地域に関わる

【新地体験ツアー】

- ① 合宿 × 学習サポート (@UDCしんち)
- ② キャンプ運営お手伝い
×
農家さん宅 ホームステイ

Step3 継続的な地域貢献

【地域貢献のすすめ号@新地】

- ・新地体験ツアー体験談
実際の学生の声
 - ・中長期な新地との関わり方
- ① 地域おこし協力隊インターン
 - ② キャンプ場で住み込みお手伝い
 - ③ 店舗でお手伝い
×
ゲストハウス (@相馬)

2024年8月10,11日 マガジン1出版のためのインタビュー等の調整
2024年9月24-25日 新地体験ツアー開催



マガジン Vol.1 2024.8.19発行



福島県
新地町

新地の魅力発見号

第一弾

マガジン Vol.2 2024.9.28発行



福島県
新地町

地域貢献のすすめ号

第二弾

マガジン Vol.1 2024.8.19発行

新地体験ツアー募集

9/24(火),25(水)に二泊三日の新地体験ツアーを実施します！！

※スケジュール

- 13:30 新地駅前集合 新地への交通費は各自負担をお願いします！
- 14:00 キャンプ場お手洗い
- 17:00 福島の食料を堪能
- 20:00 自由時間 宿泊場所とキャンプ道具はこちらで用意いたします！
- 23:00 就寝
- 7:00 起床・朝ごはん 申し込みフォーム
- 8:30 農家さんお手洗い
- 14:00 囲り取りお手洗い
- 15:00 解散

お問い合わせ先 メールアドレス kayashi.mmm.2024@gmail.com

スケジュールは今後変更する可能性があります。また交通費に加えて、参加費として1500円かかります。

宿泊場所 新地町のキャンプ場

夕食・昼食 福島の食料を堪能

新地の魅力発見号

第一陣

新地の未来を拓く学生プロジェクト

このプロジェクトでは、東洋大学の学生3人(伊藤、宮村、林)が、学生を関係人口にすることで新地を盛り上げることを目的とし、新地の魅力を伝えるためにマガジンの発行と体験ツアーの実施を企画しています。

ここで言う、関係人口とは地域に愛着を持ち、地域貢献に主体的に関わる人々を指しています。関係人口として地域に貢献する学生を確保するための下宿のようなスタイルを取り、新地へ興味を持った学生が地域貢献し続ける環境のサイクルを作ることを目指しています。体験ツアーでは、学生は地域の魅力を体験し、新地の魅力を体験しつづけて地域貢献してもらうプログラムを企画しています。

現地での活動紹介

月に1回程度、新地町に足を運び、現地の調査・聞き取り・イベントへの参加を行っています。この魅力を伝えるべく、多くの人に知ってもらい、盛り上げるために今後も全力で活動します！応援よろしくお願いします。

このマガジンを読み、少しでも新地に興味を持つ方がいらっしゃったら、新地体験ツアーへの参加を検討し、もしくは新地へ自ら足を運んでみてください！

約防防災緑地公園への見学の様子

福島フェスへの参加の様子

活動拠点UDCしんち

東洋大学では新地町の公・民・学共創の拠点としてのUDCしんちの運営を行っています。これは、新地町の持続可能なまちづくりに向けた地域活性化を推進する現地拠点として、学生等の活動コーディネートを行うほか、教育と実践の連携による研究推進の地域への還元を行う場として活用されています。

また、「地域活動デザインスタジオ」の学生は、新地町における現地調査を通じて、地域に新たな景色をうみだすための提案作成を毎年行っています。

地域活動デザインスタジオ 最終発表会の様子

地域食卓の様子

新地町 ってどこにあるの？

新地町は福島県浜通りの北の端、宮城県との県境にある町です。町域は東西7.2km、南北6.5kmとコンパクトで、海・里・山のすべてを楽しめることができます！

① 鹿狼山 ② 鹿狼の湯 ③ まあるの庭

「鹿狼山(からうさん)」は新地町のシンボリック存在！

鹿狼山の麓に湧く温泉で、山と海の絶景も必見！

初夏のバラを中心に四季折々の花と水琴窟を運ぶ絶景スポット！

新地町へのアクセス

東京 新地町

山台

新地を味わう

クコシウマイ

ふくしま浜キャンプ場

新地、相馬で水揚げされた新鮮なタコを100%使用、地域に多産(タコ)をもたらす商品として開発し、丁寧に手作りしています。

販売所: <https://www.hama-camp-meshi.com/> からオンラインで購入可能!

キャンプを楽しみながら、海の幸も同時に楽しめるふくしま浜キャンプ場も新地の特産品です！

販売所: <https://www.hama-camp-meshi.com/> からオンラインで購入可能!

海辺の約防防災緑地公園は皆が集まる街の公園！

様々な魚が獲れることから町内外から人が集まるスポット！

「農家さんの暮らし」

Vol.1.1

加藤 春男さん 久子さん

加藤さんの1日を覗いてみよう

- 03:00 起床
- 05:30 作物の様子を確認
- 05:45 田んぼの水を確認
- 07:00 朝ごはん
- 08:00 作業
- 12:00 お昼ごはん
- 13:00 作業
- 17:00 作業終了
- 22:00 就寝

加藤さんの1日を覗いてみよう

久子さんの育てる野菜は20種類以上です。シャキーンとしたのは、ハウスの天井一面に広がっています。1つの苗を1年かけて水をしながら3つの水に育てたそうです。作業は全て手作業で行われ、水を見ながら、実と葉の間が薄一本分くらい開く作業をしています。この作業は、実1つにつき大きく育つための大切な作業です。

今年も、もらって来たばかりの種が大きく育ち、農作業に励んでいるそうです。久子さんはご近所さんにお野菜を取って、買ってもらったお野菜もたくさん、試行錯誤しながら試作しています。試作は成功と失敗とを繰り返して、おっしゃっていました。

“ふくしま「常磐ものとは？」”

Vol.1.2

渡辺 登夫さん

渡辺さんの1日を覗いてみよう

- 01:00 漁へ向かう
- 02:00 出漁
- 02:30 漁場に到着
- 03:00 漁を行く
- 05:00 港へ戻る
- 05:30 水揚げ・おろし
- 07:00 船の掃除・管理
- 11:00 帰宅
- 1 休憩・その他仕事

新地町の漁業と復興

新地町の漁業は長い歴史を持ち、特に「常磐もの」として知られる高品質な魚介類で有名です。常磐沖で獲れる魚は栄養豊富な環境で育ち、身が引き締まり美味しいと評判です。

東日本大震災と福島第一原発事故で大きな被害を受けましたが、地元の漁師たちは復興に向けて努力を続け、安全な環境で漁業を再開し、復興を推進しました。観光漁業や地産地消の推進など新しい取り組みも進んでいます。

現在も「常磐もの」の品質を高め、全国から愛されています。新地町の漁業は、高い品質と伝統を守りつづけて、未来に向けた挑戦を行っています。

おすすめスポット

新地町で訪れたいべき東大のおすすめの場所をpickup!

キノエノウエン

お店の情報をチェック

キノエノウエンさんは福島県新地町で農業化学肥料に頼らない自然栽培により育てた農産物です。農と、畜と、暮らしと、人と、農業を通じて自然にできることを少しずつ」をテーマに野菜を育て、販売を行っています。予約販売、発送も上記のInstagram DMより随時受付中です。

お店の情報をチェック

最寄り店舗 福島県新地町 営業時間: 9:00-16:00 福島県福島郡新地町大字小黒根地区20-1

ホームページ

新地町のHAPPY NEWS

タコシウマイの浜店 店舗オープン

2018年8月からはじまった地産地消で最初に水揚げされたのが「新(タコ)」だったここから、復興の象徴として、地域に多産(タコ)をもたらす商品としてお届けしたいと開発されたのがタコシウマイです。2024年8月19日、新地町に全業の来店者をオープンしました。

購入方法をチェック

右のQRコード

ホームページよりオンラインで購入可能

販売所: [タコシウマイの浜店 福島県福島郡新地町大字小黒根地区20-1](https://www.hama-camp-meshi.com/)

キャンプ場 ボランティア募集

福島県新地町で毎年4月からキャンプ場がオープンします。オープンに向けて一緒にキャンプ場を作っていく方を募集しています。ボランティアが不足し、ボランティアの不足により、活動が滞ります。皆様のご協力により、キャンプ場の整備がすすむことができます。食材のご準備は各自でお願いします。

詳細情報をチェック

日時: 2024年9月-2025年3月 10-16時(10時以降)

種別: 無償日、土日祝日

連絡先: 新地(地域おこし協力隊) 090-2999-4822

福島県新地町大字新大貫13-1

申し込みは Instagram DM または電話から!

マガジン Vol.2 2024.9.28発行

一緒に新地町を盛り上げませんか？

新地の未来を拓く学生プロジェクトに
参加していただき学生を募集します。

プロジェクトの運営に関わりたい方



新地町を訪れてみたい方

体験ツアー第2回の
実施を検討しています。

Instagramで
募金を募るので
ぜひフォロー＆チェック
してください！

お問い合わせはこちらのメールアドレスをお願いします。
hayashi.mmm.2024@gmail.com

東京大学大学院新領域創成科学研究科 地域活動スタジオ 伊藤 寛村 林 2024年9月28日発行



福島県
新地町

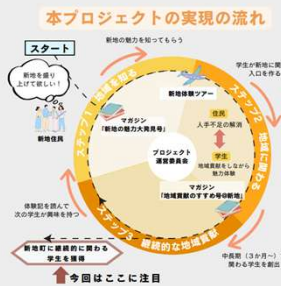
地域貢献のすすめ号

新地の未来を拓く
学生プロジェクト

このプロジェクトは、福島県新地町を盛り上げることを目的に
東京大学大学院の学生3人が運営しています。

私たちの取り組みは2つ！
① 新地町の魅力を届けるマガジンの発行
② 新地町を訪れて、魅力を感じてもらうツアー の実施です。

本マガジンを手にとっていた皆さんには
新地町の魅力を届けています。



第1回 新地町体験ツアー
体験記

新地町の魅力を体験し、継続的に関わり続ける学生を
増加させるために、新地町体験ツアーを開催しました。
今回は、計4人の学生が参加しました。

2024年9月24・25日 スケジュール

- 13:30 新地町集合
14:00 キャンプ場お手洗い
17:00 地元食材でBBQ
20:00 地元の方と交流
23:00 就寝
7:00 脱衣・朝ごはん
8:30 農家さんお手洗い
14:00 雨ざり会

宿泊場所
福島県新地町で昨年4月からオープン
するキャンプ場に宿泊しました。現在は
オープンに向けてキャンプ場の整備を一
層行っているとのことでした。ボ
ランティアは、雨ざり会が主となつて
います。詳しい内容は2024年8月発行
のマガジン「新地町体験ツアー第1回」
またはInstagramをご覧ください。

キャンプ編 農家編
花壇づくり
感想
夜ご飯のBBQ
感想
お昼ご飯
感想

農産物直売所 お手伝い
よりみち
二夏の総結め
いちじくの総結め
感想

新地物語
Vol.2.1
“移住して手にした新たな繋がり”
移住を決めた理由とは？
熊谷 真人 さん
熊谷さんの1日を覗いてみよう

より具体的な関わり方を提案！
より深く新地を体験し、学ぶ
新地に暮らし、貢献する
① キャンプ場で住み込みインターン
② 地域おこし協力隊インターン
③ 店舗でお手伝い×ゲストハウス

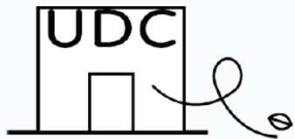
津田真里愛 時田岳遠 朴天丞

うごくつながる UDC

新地でたまり場を作る、まちづくりの種を蒔く
そのために、UDCはまちに出張します

出張UDCは、みんなの「あったらいいな」「やってみたい」をつなぐ、
まちづくり参加のための第一歩です

新地町とUDCのいま



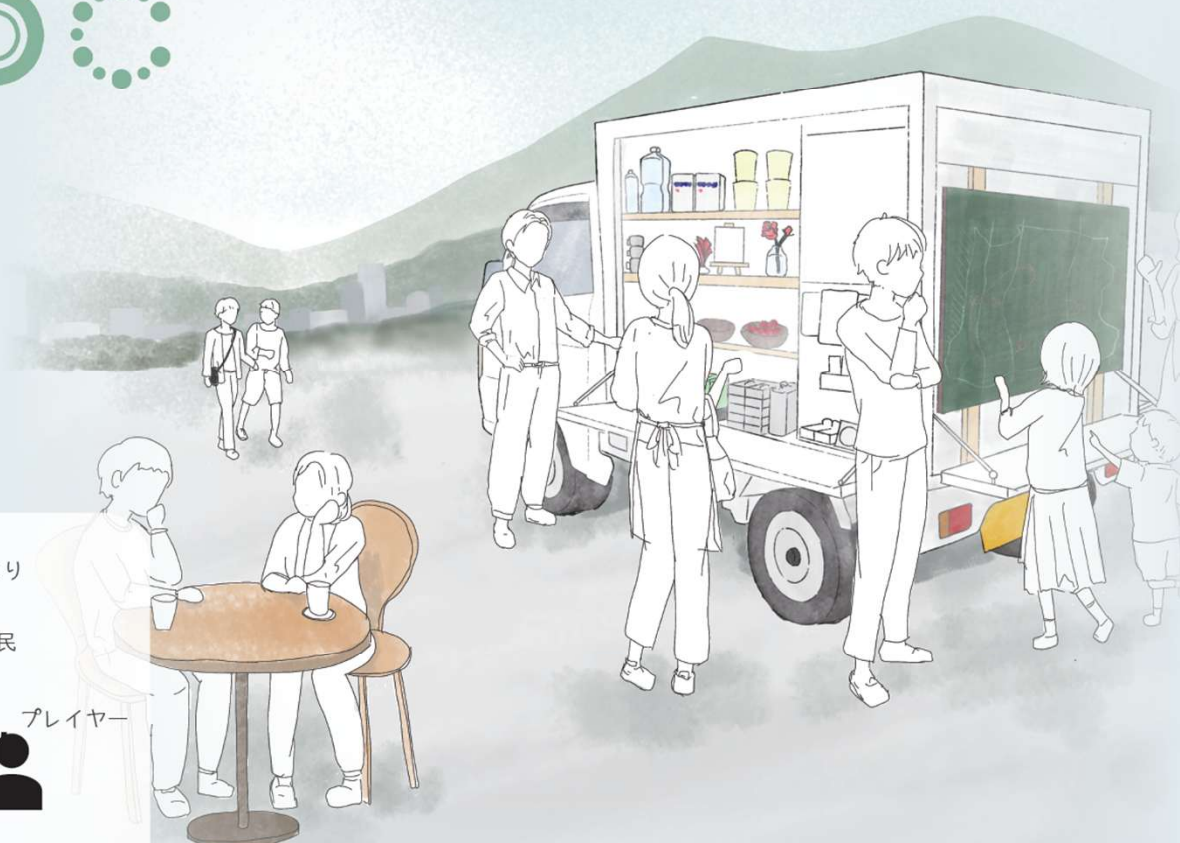
UDCが街に根付いていない

まちの活用

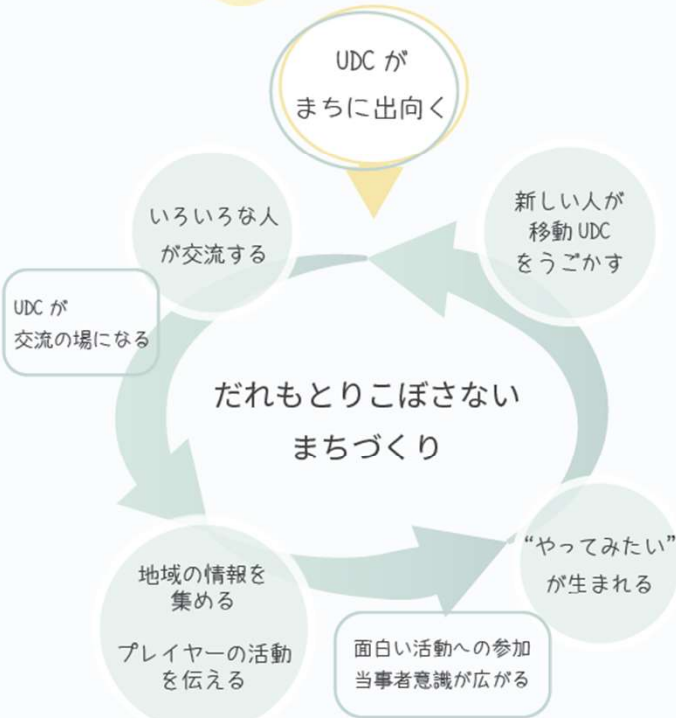


ソフト面の整備が不十分

相互のやりとり

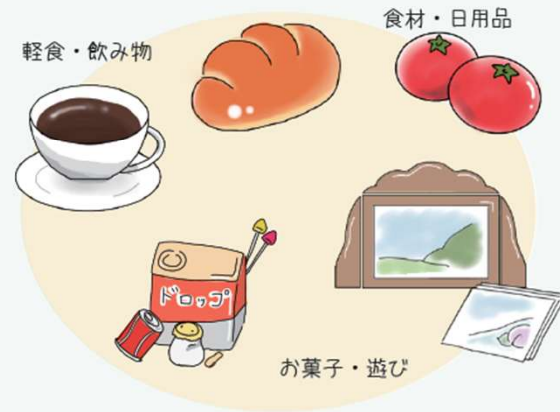


UDC からはじまる連鎖



UDC が出張することをきっかけに、新地町の交流が増え、「やってみよう」の連鎖を紡ぎます。そして『出張UDC』は「やってみた、できた」が生まれる場として、自分ごととしてまちづくりを考え、みんなのためのまちづくりを実現する役割を担います。

出張UDC でできること



みんなが時間を共有できるきっかけを運びます



みんながやっていることを共有して、「やってみよう」の連鎖をつくるプラットフォームに

出張UDC のモデルルート



- ① 鹿狼山登山口
- ② あぐりや（新地地場産市場）
- ③ 駒ヶ嶺公民館
- ④ 新地町総合公園
- ⑤ 新地町役場
- ⑥ 釣師防災緑地公園
- ⑦ 福田小学校
- ⑧ JR 新地駅

2024年8月11日：制作に向けたワークショップ

2024年9月27-29日：『しんちゃっと』上屋の制作

2024年10月27-28日：『しんちゃっと』新地町内へ出張



2024年8月11日：制作に向けたワークショップ

2024年9月27-29日：『しんちゃっと』上屋の制作

2024年10月27-28日：『しんちゃっと』新地町内へ出張

1日目(27日): 釣師防災緑地公園→バーベキュー広場(こもれび広場)→新地駅前

2日目(28日): 雁小屋地区集会場→鹿狼の湯→新地駅前



新しい新地に出会う。
新しい私に出会う。

しんみー



町の皆さんが気付いていない
新地の魅力と出会え (meet)
新地づくりに携わる新たな
自分とも出会える (me)。
そんな情報共有アプリです。

マップ班
寺浦 沙也佳
都築 葵
中村 悠哉



(2024/6/ 地図作りにご協力いただいた皆さん、
ありがとうございました!)

ふと、こう思ったことありませんか？

新地で開催される
イベント情報が検索しづらい



イベントに参加したいけど
他にどんな人が来るんだろう



町に〇〇があったらいいな...



こんな「かくれアクティブ層」を **しんみー** でサポート

VISION

「思い」を活動にしやすい土壌を作り、新地町での住民活動・街づくりが活発に
町民の思いに寄り添った、暮らしやすく素敵な新地町＝地域肯定感up



タップする人が増えると、ピンの色がピンクに変化！



- ・地図上に表示されるピンをタップすると、イベントや新地の魅力の紹介を見ることができる
- ・ピンの情報はソートが可能
- ・表示できる情報は無限大！
 - ・イベント
 - ・サークル
 - ・新地ニュース
 - ・新地の魅力
 - ・新地の素敵なあの人

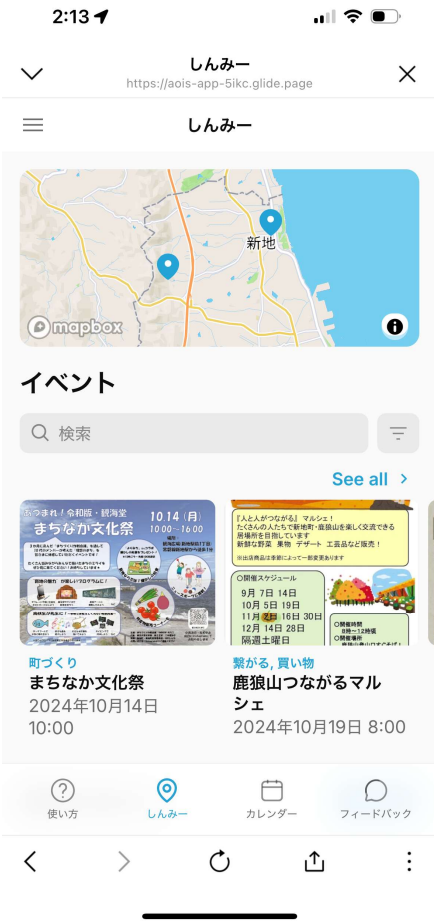
- ・気になる！をボタンで示せる
- ・皆んなの関心があるイベントやニュースが一目で分かる
- ・イベント情報では、町で使えるクーポン配布

【お題】が表示される
↓
アイディアを書き込める & 賛同ボタンを押せる
↓
多くの賛同が集まると、種が育って花が咲く
↓
花が咲くと特典がもらえる！

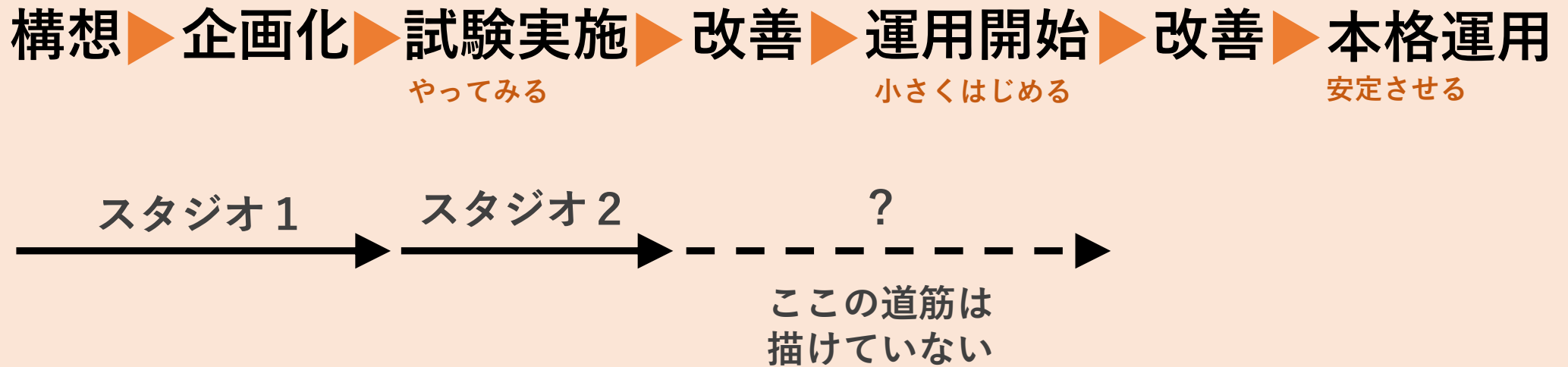
- ・情報発信できる → 参加者や協力者の募集も可能
- ・アンケートを取れる → 新しいアイディアの感触を試す場に！

アプリのデモ画面を見てみよう！

2024年10月5日、6日：釣師潮風マーケットへのブース出展 「しんみー」体験版へのフィードバック



3 班共通の課題



最終年度に
むけて

これまでの企画を一部引き継ぎ、試験実施のノウハウを生かし、現実的な範囲で「小さくはじめる」ための提案ができないか

来年度（2025.4-）のスタジオ

全4回の最終回

- 1 受講生を絞り、少数精鋭（2班体制）に
- 2 これまでの企画の一部を引継ぎ、UDCしんちとして、スタジオ終了後も取り組めそうなアクションを提案する
- 3 今まで以上に地元の方と一緒に動く。地元の活動に入って体験する時間をしっかり取る

引き続きよろしく願っています！